

チャレンジ 三高生！

1 学年「総合的な探究の時間」発表会

SDGs 課題「持続可能なまちづくり」

9月5日、1 学年 32 人は、役場住民福祉課職員を招き「総合的な探究の時間」発表会を行いました。この発表会は、三戸高校が設定した SDGs 課題「持続可能なまちづくり」のもと「町の魅力化・魅力発信」「ごみを減らすには？」の 2 つのテーマについて探究することを通して、

- ・ 生徒が主体的に課題解決の方法について調査、情報収集、考察する力を身につける
- ・ 解決を目指す活動を通して、探究の過程を理解し、問題解決能力を身につける
- ・ 課題解決に向けて収集した資料を適切に活用し、成果を発表する

ことを目的として実施されました。発表後、生徒たちは「ゴミ処理費用が減っても、リサイクル費用がかかってしまうことがわかりました。極力ゴミを出さないように意識したい」などの感想を述べていました。

発表テーマ (8 班)

- 1 班：古着問題と古着回収
- 2 班：リサイクルの啓発
- 3 班：生ゴミ削減とコンポスト
- 4 班：古着回収をやってみて
- 5 班：三戸の食材をレシピ付きで発信
- 6 班：三戸の魅力を SNS 発信！
- 7 班：11 ぴきのねことふるさと納税
- 8 班：三戸の四季のイベント発信



今月のピックアップは

うちじょう ひろこ 内城 寛子 さん

富士大学経済学部准教授、スポーツ振興アカデミー長

三戸町出身の内城寛子さん (46) は、岩手大学大学院を修了し、相談員やスポーツ関係の職を経て、現在は富士大学 (岩手県花巻市) の経済学部准教授およびスポーツ振興アカデミー長の役職に就いている。また、トップチームや国際大会レベルの選手に対してコーチングを行う「日本スポーツ協会認定コーチ 4 (テニス)」と選手の心理面をサポートする「日本スポーツ心理学会認定メンタルトレーニング指導士」の資格を取得し、ジュニア選手育成に携わっている。



— 現職に就こうと思ったきっかけは何ですか？

幼少期にスケートに出会ってスポーツが好きになりました。家族も熱心にサポートをしてくれて、スポーツが生活の中心でした。三中時代にテニスに出会い、その後も素晴らしい仲間や指導者のおかげで今の私があります。教育研究職に就いた現在は、学生たちとスポーツについて語り合う日々がとても幸せです。

— 今後の目標はありますか？

先日、教え子のサッカー選手たちが大学日本一になりました。毎日努力している姿を見ていたので感無量でした。地方のチームでも活躍できる証明になったと思います。このようなスポーツの尊さを多くの人に伝えるとともに、これからも元気にテニスコートに立って子どもたちに指導していきたいです。



Vol.9 /
わがまち

PICK UP!!